

第3回内分泌攪乱化学物質に関するメダカ国際シンポジウム
プログラム

2月27日(木)(公開セッション)

9:30-9:45 開会挨拶

安達 一彦(環境省環境保健部環境安全課長)

井口 泰泉(岡崎国立共同研究機構)

Anne Gourmelon(経済協力開発機構(OECD)環境保健安全部)

セッション I. 魚類を用いた内分泌攪乱化学物質に関する試験法開発(魚種別)の概要

(座長: Anne Gourmelon:OECD)

9:45-10:00 メダカ

(井口 泰泉: 岡崎国立共同研究機構)

10:00-10:45 ゼブラフィッシュ

(Thomas Braunbeck: ハイデルベルグ大学)

10:45-11:30 ファットヘッドミノー

(Rodney D. Johnson: 米国環境保護庁)

昼食 11:30-13:00

特別講演. メダカにおける生殖腺の性分化と性決定

(座長: 井口 泰泉: 岡崎国立共同研究機構)

13:00-14:00 長濱嘉孝: 岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所

セッション II. メダカを用いた内分泌攪乱化学物質に関する試験法開発の具体的な取組

パート

(座長: 井口 泰泉: 岡崎国立共同研究機構)

14:00-14:25 invitro試験(レセプターバインディングアッセイとレポーター遺伝子アッセイ)

(中井 誠: 財団法人化学物質評価研究機構)

14:25-14:55 ビテロジェニン産生試験と繁殖試験(関 雅範: 財団法人化学物質評価研究機構)

14:55-15:25 パーシャルライフサイクル試験とフルライフサイクル試験

(横田 弘文: 財団法人化学物質評価研究機構)

休憩 15:25-15:40

パート II

(座長: 有菌 幸司: 熊本県立大学)

15:40-16:05 性決定遺伝子 DMY の応用 (阿部 達雄: 財団法人化学物質評価研究機構)

16:05-16:30 水環境中の化学物質モニタリングへのシースルーメダカの適用

(若松 裕子: 名古屋大学 及び 木下 政人: 京都大学)

16:30-16:55 内分泌攪乱化学物質フリーの餌の開発と給餌 (有菌 幸司: 熊本大学)

16:55-17:00 メダカに関する情報発信 (江藤 千純: 財団法人化学物質評価研究機構)

17:00 閉会挨拶

尾里 健二郎: 名古屋大学名誉教授

2月28日(金)

～ビテロジェニン産生試験のリングテストの円滑な実施に向けた技術的な情報交換～

座長: 井口 泰泉: 岡崎国立共同研究機構
Rodney D. Johnson: 米国環境保護庁
Anne Gourmelon: OECD

セッション I. OECD フレームワークにおける魚類を用いた内分泌攪乱作用に関する試験法開発

- パート I OECD フレームワーク
9:30-10:00 内分泌攪乱化学物質に係わる OECD フレームワークとバリデーション試験実施
(Anne Goldmelon: OECD)
- パート II ポジティブコントロール投与時におけるビテロジェニン産生試験結果
10:00-10:30 メダカ (前田 正伸: 財団法人化学物質評価研究機構)
10:30-11:00 ゼブラフィッシュ (Gitte Petersen: DHI Water and Environment)
11:00-11:30 ファットヘッドミノール (Karen Thorpe: Astra Zeneca)
11:30-11:40 質疑応答

昼食 11:40-12:40

セッション II. エンドポイント(ビテロジェニン及び生殖腺)における魚種別の感受性と変動因子等

- パート I ビテロジェニン
12:40-13:00 メダカ (鑓迫 典久: 独立行政法人国立環境研究所)
13:00-13:20 ゼブラフィッシュ (Thomas Braunbeck: ハイデルベルグ大学)
13:20-13:40 ファットヘッドミノール (Rodney D. Johnson: 米国環境保護庁)
13:40-14:10 質疑応答

休憩 14:10-14:25

- パート II 生殖腺
14:25-14:45 メダカ (関 雅範: 財団法人化学物質評価研究機構)
14:45-15:05 ゼブラフィッシュ (Leif Norrgren: スウェーデン大学)
15:05-15:25 ファットヘッドミノール (Karen Thorpe: Astra Zeneca)
15:25-16:05 質疑応答

- パート その他
16:05-16:30 全体質疑応答

- 16:30 閉会挨拶
井口 泰泉: 岡崎国立共同研究機構